※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	社会一般	単位数	１単位	年次	1,2 年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では社会の重要な事柄を基礎から学びます。高校で学ぶ社会科の内容についていけるか不安な人は、ぜひ受講してください。内容については、理解できるよう丁寧に講義を行います。基礎を身に着けることで、これから学ぶ社会科の理解度をあげてみましょう。

2　学習の到達目標

①学習を通して社会の様々な事柄への興味関心を高め、それらを学ぶ意義に気づくことができる。
②社会の基本的な事柄を知り、平和で民主的な社会の形成者としての自覚をもって考える態度を身につける。
③社会の基本的な事柄について考察し、自分の考えを適切に表現できる。
④社会の基本的な事柄についての諸資料を効果的に学習の探求に活用することができる。
⑤社会の基本的な事柄についての知識を身につけ、それらを相互に関連付けながら理解できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理、歴史、政治・経済について学び、社会の基本的な事柄についての知識を身につけ、それらを相互に関連付けながら理解できる。	・社会の基本的な事柄について考察し、自分の考えを適切に表現できる。	・学習を通して社会の様々な事柄への興味関心を高め、それらを学ぶ意義に気づくことができる。 ・社会の基本的な事柄を知り、平和で民主的な社会の形成者としての自覚をもって考える態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地理的分野	・地球のすがた ・世界と日本のすがた ・世界と日本の地形・気候 ・世界の人口・資源 ・世界の自然環境と　都市・国々	a：世界と日本の地理の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。 b：地理の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c：地理の基本的な事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	提出物 振り返りシート
2学期	歴史的分野	・時代の区分 ・世界の文明 ・縄文時代～安土桃山時代 ・江戸時代～現在	a：日本を中心とした歴史の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。 b：歴史の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c：歴史の基本的な事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	提出物 振り返りシート
3学期	公民的分野	・わたしたちと日本　国憲法 ・わたしたちと政治・　経済 ・わたしたちと国際　社会 ・わたしたちと現代　社会	a：政治・経済の基本的な事柄について理解し、知識が身についている。 b：政治・経済の基本的な事柄について考察し、適切に表現できる。 c：政治・経済の基本的な事柄を学ぶ意義について考え、それらについて関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	定期考査 授業内課題	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度